

欲望と野望



経済も日本人の知的能力も財産も他国に対して圧倒的であり、問題解決能力はそれぞれの個人に十分あります。多くは「敵」を過大評価していることが多いのです。最大の「敵」は己、最大の裏切り者も自分自身です。自分で約束を見事に破る、

一番身近な犯罪人です。現代人は失った感性である欲望を再度よみがえらせば、これからの人口減少にロボット、日本人は多くの課題に立ち向かうことがたやすいのではないか。

社会の規範や学校教育の、基本は理性教育です。人類は理性でなく、そもそも好き嫌い欲望である感性から存在していますから、人類の理性は後天的な教育によって育まれたものです。

このため現代社会人は本来の本能を理性で押し込める結果、今日多くの引きこもりを始めとした精神疾患に苛まれています。

理性は社会を豊かにする幸せのために使われるはずですが、悪は常に強力く、人の基準である理性も大切な文化も、法で規制しなければならなくなっています。

日常に慣らされる結果、砂漠の真ん中でも、ぼつんと信号機があれば日本人は当然従います。これを是とするか否かとするかは、各国の文化です。

浮気は文化と言った芸能人がいましたが、人類史では正確です。信号機を無視し事故や怪我がなくても、他者に迷惑をかけなくても、道義上の責任があります。拘留や逮捕も冤罪も諦めない限り自己責任です。

事業の不振も自己責任です。まず助ける一番が自分自身、そもそも何を求めているのかです。目的も目標を失い、何も取り組めないのは変わらないからです。否定的な面が強調され動かないのは、行動して七転八倒するのと程遠いものです。自分に「幸福を広める」

ためには死ぬほどに考え、とにかく逃げず行動を重ね「自助」、前進するのみ。上下、左右、前後、裏表、大小の関係であります。

雇用を生み利益をだし、税を納める

機能に優れたものは、実に美しい。それと誠実。この二つでも人の心に、記憶が長く残ります。

「危機と怒り」の反対が「安心と満足」ですから、危機と感じず怒りもない、これは深刻な危篤状態です。

病気になって回復するのは薬（毒）の効果ではありません。本来、個体が持っている回復力で治癒するのです。回復力が減少している場合、物理的な維持装置でしか存在できません。会社も同じです。

何故こうなるのでしょうか。

困難に対峙した時、往々に安易な道を選択しています。どちらの道も同じことですが、その選択に危機が潜んでいます。

安心と満足

す。どちらを選択しても想定外の困難が付きますから逃げ、楽だと思おう方を選択した時に甘えがありません。まず二者は、最初から覚悟が違います。困難な壁に直面した時、どうしても選択の責任

を時代や他に転嫁し自らが素直に受け止められないのです。

困難を想定し受け入れ、超えたとときに貴重な大きな経験を、得たこととなります。失敗を恐れるためか、

経験が少ない世襲経営者が多いのです。経験不足からの明らかに失敗を招く体質は、他に指導を仰いでも結果は改善しない場合が多い。

一代で事業を起し幸せ築き、安心と満足の天国であっても、名実は多くは灰となつてから定まるのです。

(有)西川経営オフィスサービス

中村会計

事務所便り

2014年7月22日(火) NO 358

地域から明るい未来を作ろう